● 貴施設情報 　　　　　　 送信日　　　　　　年　　　　月　　　　日

貴施設名

貴施設住所 〒

診療科 　　　　　　　　電話番号 　　　　　　　　FAX

医師名 　　　担当看護師

e-mail

● ご紹介患者情報

(フリガナ)

氏名 (漢字) 　　　　 　　　　( 男・女 )

生年月日 　 　 　　　年　　 　月　 　　日　　　 年齢

住所 〒 　-

TEL　　　　 　　　　　　　　　FAX

主訴：

診断名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　病理学的診断：

TNM分類　T　　　　　N　　　　　M　　　　　Stage　　　　，不明

最近の血液データ 検査日（　　月　　日）WBC 　　　 　 Plt 　　 　　 Hb 　　　　 クレアチニン値

合併症　□　なし　□　あり　　内容 ( 　 　　　　　)

ペースメーカー・ICD　□あり　　自己ペーシング　□あり□なし　自己ペーシングなしの場合は不適格となります

ペースメーカー・ICDを挿入した医療機関（　　　　　　　　　　　　）診療科（　　　　　　科）医師名（　　　　　　　　　　）

現在までのがん治療□ なし　□ あり(□手術、□化学療法、□放射線療法、□IVR、□その他）

患者に対する説明内容（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ）

貴院キャンサーボードの実施　　□実施　　　□未実施

当センター医師への事前相談　　□あり（医師名：　　　　　　　　　　　　　　　）□なし

現在までの経過：

転移性腫瘍　チェック項目と検査項目

**1．病状サマリー**

**転移性腫瘍の部位（区域）：＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　　最大径　：＿＿＿＿＿cm**

**転移性腫瘍の病理診断：＿＿＿＿＿＿ ＿　　　原発巣部位：＿＿＿＿＿**

**前回の治療時期（原発巣を含む）：＿＿＿＿年＿＿月　＿＿日（部位＿＿＿＿）**

**前回の治療法＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　今回の再発までの無病期間＿＿か月**

**２．適格条件　（はい，いいえ　のいずれかの該当する項目に○をつけて下さい）**

１）病理学的または臨床的に悪性腫瘍の転移と診断された単発腫瘍である． ***はい　　いいえ***

２）治療対象となる転移性腫瘍以外に活動性の悪性病変を認めない． ***はい　　いいえ***

３）転移性腫瘍と消化管との距離が少なくとも2cm以上離れている． ***はい　　いいえ***

４）粒子線治療開始時に測定可能な病変がある． ***はい　　いいえ***

５）Performance Status (PS)が０，１，２である． ***はい　　いいえ***

６）照射時の姿勢保持 (約30分間の臥位) が可能である． ***はい　　いいえ***

７）主要臓器機能が保たれている． ***はい　　いいえ***

８）全身転移の可能性があり予後不良であることを患者本人が理解している．***はい　　いいえ***

９）粒子線治療部位への放射線治療の既往がない． ***はい　　いいえ***

１０）粒子線治療部位に活動性の感染症がない． ***はい　　いいえ***

**３．粒子線治療開始に必要な検査**

| 検査チェックリスト | 実施日（西暦） | 実施チェック |
| --- | --- | --- |
| 転移性腫瘍病理診断レポート | 　　　　年　　月　　日 | □済　□未　□予定 |
| 転移性腫瘍部CT | 　　　　年　　月　　日 | □済　□未　□予定 |
| 転移性腫瘍部MRI | 　　　　年　　月　　日 | □済　□未　□予定 |
| 全身PET-CT | 　　　　年　　月　　日 | □済　□未　□予定 |
| 脳MRI | 　　　　年　　月　　日 | □済　□未　□予定 |
| **原発部位の再発を否定する画像検査** | 実施日（西暦） | 実施チェック |
| 胸部CT | 　　　　年　　月　　日 | □済　□未　□予定 |
| 腹部-骨盤CT | 　　　　年　　月　　日 | □済　□未　□予定 |

＊粒子線治療前の画像・血液検査は過去8週間以内に実施されていることが必要です．

**４．粒子線治療後は貴院で検査・診察など経過観察は可能ですか？　　　　　　*はい　　いいえ***

**（貴院での経過観察をお願いできない場合には治療はお受けできません）**